

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
| | | | | | | |

このとおり作成しましたので報告します。

産 業 建 設 委 員 会

開 催 日：平成28年6月29日(水)
 開催時間：9時57分～15時15分
 開催場所：全 員 協 議 会 室

【委 員】 笹田委員長、飛野副委員長

串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】 森谷、西村、柳楽、江角、足立、野藤、小川、佐々木、渋谷、岡本

【議長団】 議長、副議長

【執行部】

(産業経済部) 中村産業経済部長、田村産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、竹中産業振興課長(兼ふるさと寄附推進室長)、佐々木広島市場開拓室長、川神農林振興課長(併農委事務局長)、佐々本農林振興課副参事、吉田水産振興課長、石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野建設企画課長、吉川建設整備課長、吉田地籍調査課長、坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、西川建設庶務係長

(総務部) 坂田行財政改革推進課長

(地域政策部) 宇津政策企画課長、岡田地域プロジェクト推進室長

(金城支所) 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

(旭支所) 田村旭支所長、今田旭支所産業建設課長

(弥栄支所) 細川弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

(三隅支所) 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

議 題

1 議案第58号 浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について

2 議案第61号 市道路線の廃止について(大麻13号線)

3 議案第62号 市道路線の認定について(国府251号線外)

4 執行部報告事項

(1) 浜田港拠点化形成研究会について

(2) 食による賑わい創出事業に係る地域おこし協力隊の活動拠点変更について

(3) 平成27年浜田市農業産出額について

(4) 島根県きのこの里づくり事業について

- (5) 危険木・支障木緊急除去事業の運用について
- (6) 漁業別水揚げについて
- (7) 高度衛生管理型荷捌所の整備スケジュールについて
- (8) 国民宿舎千畳苑の大規模改修後の収支見込について
- (9) 浜田市農畜産物加工施設の状況について
- (10) 美又温泉公的施設検討会議の報告について
- (11) 市道の廃止・認定状況について
- (12) 「浜田市空家等対策の推進に関する条例概要(案)」及び「浜田市空家等対策計画(案)」の
パブリックコメントの実施について
- (13) 総合振興計画及び総合戦略の進捗管理について
- (14) 瀬戸ヶ島埋立地における水産事業実行可能性調査について
- (15) 公の施設に係る指定管理者の管理の期間について
- (16) その他

5 その他

【議事の経過】

[9時 57分 開議]

笹田委員長

ただいま、出席委員は7名で定足数に達しております。直ちに本日の委員会を開催いたします。

委員会に先立ち、株式会社コムサからビデオ撮影の申し入れがありました。浜田市議会委員会傍聴規程の第5条で傍聴人は、委員会室内において写真、映画等を撮影してはならない。ただし、特に委員長の許可を得た者は、この限りではない。とあります。

基本は撮影してはならないとなっていますので、許可しないということでしょうか。

(「はい」という声あり)

では許可しないものとします。また森谷議員より、執行部からの報告事項の(1)浜田港拠点化形成研究会についてについて委員外議員の発言を求められています。これは前回の調査会にて協議した結果、全員協議会の報告事項において発言を担保するものとなりました。それと同じ扱いで、当委員会での発言は許可しないものとしてよろしいか。

(「はい」という声あり)

許可しないものとします。

前回欠席されていましたが永井三隅支所産業建設課長からご挨拶をいただきます。

《 挨拶 》

それでは、順次進めていきますのでよろしく申し上げます。

1. 議案第58号 浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について

笹田委員長

この件について、執行部から補足説明はありますか。

(「ありません」という声あり)

笹田委員長

委員から質疑はありますか。布施委員。

布施委員

木田一般住宅の土地所有者をお聞きします。

建築住宅課長

敷地は個人所有ではなく、市の所有です。

布施委員

公共施設再配置実施計画にて、構造が載っていませんでした。ブロックコンクリートの耐用年数は60年らしいですが、このプレキャストコンクリートの耐用年数は何年ですか。

建築住宅課長

再配置実施計画には、60年と位置づけていますが、公営住宅法の構造別の耐用年数表があり、その中で簡易耐火2階建は45年ということですのでこの扱いで考えています。

布施委員

この件については、老朽化が近いものは随時廃止していくと実施計画にありますがそのような考えでよろしいでしょうか。

建築住宅課長

そのように耐用年数が経過したものから解体なり譲渡なりを検討していくと思います。

布施委員

解体して検討するということは、何か他に利活用される含みを感じます。何か計画があるのでしょうか。

建築住宅課長

解体予定ですが、財政協議によって時期が決まっていくので検討という表現にさせていただきました。予定ということで。

串崎委員

解体を検討するとなっているけどまだ分からないとのことでしたが、この場合、U・Iターンへ提供する空き家にできそうなのですが。

| | |
|--------|--|
| 建築住宅課長 | 木田一般住宅は老朽化がかなり進んでおり、空き家としての利活用した場合には修繕費の方がかなりかかると考えているので、解体を検討しています。 |
| 笹田委員長 | その他ありますか。 (「なし」という声あり) では、この件については終了します。 |

2. 議案第61号 市道路線の廃止について（大麻13号線）

| | |
|-------|--|
| 笹田委員長 | この件について、執行部から補足説明はありますか。 (「ありません」という声あり) |
| 笹田委員長 | 委員から質疑はありますか。 (「なし」という声あり) では、この件については終了します。 |

3. 議案第62号 市道路線の認定について（国府251号線外）

| | |
|----------------|---|
| 笹田委員長 | この件について、執行部から補足説明はありますか。 (「ありません」という声あり) |
| 笹田委員長 牛尾昭委員 | 委員から質疑はありますか。牛尾昭委員。 5月13日に全委員で現地視察をし、問題なしと確認しているの、問題ないと思われま。 |
| 笹田委員長 | 他に。 (「なし」という声あり) では、この件については終了します。 |

4 執行部報告事項

| | |
|-------|---|
| 笹田委員長 | 執行部報告事項ですが、先に(13)、(14)、(15)から始めたいと思います。 |
|-------|---|

(13) 総合振興計画及び総合戦略の進捗管理について

| | |
|---------------------------------------|---|
| 笹田委員長 政策企画課長 地域PRJ推進室長 笹田委員長 | この件について、政策企画課長。 (以下、資料をもとに説明) (以下、資料をもとに説明) 報告が終わりました。資料1からやっていきたいと思います。委員から質疑はありますか。原田委員。 |
| 原田委員 | 7ページ6、確かに目標値よりは人数も相当増えているので結構なことですが、事業内容の特徴的なものはあるのでしょうか。 |
| 観光交流課長 | 交流事業の特徴は特にございませんが、基本的に異文化を理解する。例えば英語、中国語、ベトナム語の語学講座を開催したり、国際交流員が中心になってクリスマスやハロウィンに、地域の子ども達を招いて交流しています。 |
| 原田委員 | 人数が増えるのも結構ですが、中身が重要だと思いますので検証しながらやっていく必要があるのではと思います。どのようにお考えですか。 |
| 観光交流課長 | 国と国の関係で、相互訪問事業がここ数年出来ていません。相互訪問が活発化すると市民の皆さんの国際交流への関心も高まっていきますので、出来るだけ相手方と相談しながら取り組んでいきたいと思っています。 |
| 笹田委員長 | その他。布施委員。 |

| | |
|------------------|---|
| 布施委員 | 浜田港三隅港を活かした産業の振興で、取り扱いコンテナ数は2481TUと書いてありますが、コンテナ数はTUで分かりますが、実際にコンテナ船が入港した数は分かる物でしょうか。 |
| 産業政策課長 布施委員 | 平成27年度のコンテナ船寄港回数は年間46回となっています。 ということは26年度と比べて目標数から減っていますが、船的には前年並みと理解してよろしいですか。 |
| 産業政策課長 | 入港回数はだいたい年間50回前後で推移しています。毎週土曜に釜山から接岸しています。 |
| 笹田委員長 | その他。 (「なし」という声あり) |
| | では、資料1については終了し、資料2について質問のある方は。串崎委員。 |
| 串崎委員 | 2ページについて。C評価になった説明は分かりますが、問題はCからどのようにAにするかが一番大事だと思います。今後どのようにAに持っていかも書いていただきたいと思います。 |
| 地域PRJ推進室長 | 現在の評価が分かりやすいよう説明を加えています。今後の対応についても書くかは検討させていただきます。 |
| 串崎委員 | 全部について今後どうするかを書かれた方が良くと思うのでよろしくお願ひします。 |
| 笹田委員長 牛尾昭委員 | その他。牛尾昭委員。 観光交流推進で、はまごちツープライスと五地想ものがたりに個人で参加しているので参加企業側の考え方としてご意見申し上げたいと思います。ツープライス料理の提供食数について、2800円はA、1400円はCなのですが、大会社に対して1400円というプライス設定のピントがずれている気がします。2800円はノドグロなど外からこられた方がそれを食べたいというニーズの設定です。1400円というのが消費者ニーズからずれているのではないかと思います。例えば1000円とか、戦略展開した方が良くと思います。これなら参加してやってみようと思えるような設定、戦略を、計画を立てた当初とは状況が変わっているので検討した方が良くと思います。 |
| 旭産業建設課長 牛尾昭委員 | 温泉水活用事業、Cになっているんですがコンテストの結果でいくと温泉水を使ったスッポンの養殖は、ここに反映されていないのか現状ゼロになったのか説明をお願いします。 0人でCですが、最優秀賞は該当しなかったのが0人としています。 最優秀はなくても優秀賞があつて起業化に繋がったと報告を受けているので、起業化が実現したならCの評価は現状とそぐわないのではないのでしょうか。 |
| 旭支所長 | 当初より交付金を上乗せして事業対象とするというのは100万円の最優秀賞のみとしておりました。残念ながら最優秀賞の該当がなかったということで0人です。優秀賞としてすっぽんの飼育に向けて取組はありますが上乗せ交付金から見れば該当がなかったのがC評価です。 |
| 牛尾昭委員 | おっしゃるとおりですが、結果として1社が起業するのであれば、例えばBにするといった配慮があつても良いのではと思いました。 |
| 飛野委員 | 2ページ目、集落営農組織数、30が32になってA評価で喜ばしいと思います。ただ2件増えたではなく、最近の高齢化で何件か減った上で2件増えたというようなことはないでしょうか。 |

| | |
|---------|--|
| 農林振興課長 | 活動が停滞している集落営農組織もあります。27年度に新設されたのが3つあります。トータル32ですが、メリット等をお話させていただき、昨年度は3つ新たなものが出た。一方高齢化で活動停止しているものもあります。もっと力を入れて取り組まねばならないと思っています。 |
| 飛野委員 | 目標数値を今後増やす意向はありますか。 |
| 農林振興課長 | 現状維持が難しい組織もあります。目標は32で変わりませんが、更に上乗せしたい考えで取り組んでいきます。 |
| 原田委員 | 農林振興ですね。5点出ていますが、目標とする所を、農林業の所得を上げることが目標にしながらやるのが基本的考えでないといけないと思っています。新規認定数Aになっていますが、しかし全体的にこれまでの累計で見ると私は減っている気がします。そうしたことをAランクに位置づけるのは、目標の面から言うとおかしいのではないかと思います。農業生産額、あるいは所得、それらを上げることが必要なものであり、効果を見て評価しなければ。去年より今年が増えたから良いのだという判断は参考にならない気がします。項目的にはそうなのかもしれませんが、評価表も考えてもらわなければ。どのようにお考えですか。 |
| 農林振興課長 | 確かに数字だけで評価するのはいかがなものかと思っています。実際は新規認定数は3とありますが、所得をあげていかなければならないという観点で言うと、3経営体のうち2つが法人でやっています。集落なり認定農業者の方もこの表には出て来ないそれぞれの取組をやっておられるし、農家所得500万を目指してやっています。決して数字だけ合わせたものではなく、法人に格上げして取り組んでいる所もあります。 |
| 笹田委員長 | その他。 |
| 牛尾昭委員 | 聞きもらしがありました。巻き網構造改革のC評価です。目に見える姿があると皆さんが参加して評価がAになったわけです。巻き網のC評価の中身について報告出来るものがあればお願いします。 |
| 漁港活性化室長 | 地元船の存続をしなければならぬため取り組んでいます。県を交えて2社と協議しています。取組は0ヶ続なのでCです。昨年度はさらに国の事業を沖底でも使いましたが、そういったことができないだろうかと事業費のシミュレーションを経営体にも示している状況です。 |
| 牛尾昭委員 | まだ先が見えていない印象を受けました。事業者がプランに乗れない状況などがあるのでしょうか。うわべの報告ではなくどこが問題でこう着状態なのか、報告出来ればお願いします。 |
| 漁港活性化室長 | 水揚高が安定しないと、次の構造改革の取組に入れません。一昨年は4億円程度の水揚がありましたが、昨年は3億円でした。せめて4億円がずっと続くようであれば、次のステップへ繋がると思います。 |
| 笹田委員長 | その他。 (「なし」という声あり) ではこの件については終了します。 |

(14) 瀬戸ヶ島埋立地における水産事業実行可能性調査について

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 笹田委員長 | この件について、地域PRJ推進室長。 |
| 地域PRJ推進室長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 笹田委員長 | 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。布施委員。 |
| 布施委員 | 私はこの水産業実行可能性調査、蓄養と養殖をしていく考えがあったと |

思います。岡山理大の好適環境水を瀬戸ヶ島で活用していく必要もあると思います。並行的な考え方の検討を瀬戸ヶ島埋立地の活用に活かされるのかという説明があまりない気がします。折角、山本准教授に浜田へ来ていただき、魔法の水ということで、可能性について非常に熱く語られました。どうなっているのかお聞きします。

水産振興課長

岡山理大の好適環境水は大変有効だと思っています。今年度に入りまして山本先生のおられる施設に伺い、お話をじっくりうかがいました。そのときにでました課題なのですが、好適環境水については海の近くで養殖するのはまだ難しいということでした。無菌状態での研究なので養殖海の近くはまだ難しいというお話でした。しかし中山間地では非常に有効だと思えますので、引き続き努力します。

布施委員

海の近くで養殖するのは難しいというのは、魚種によってはということですか。

水産振興課長

無菌状態、波しぶき等の影響がない場所での研究しか出来ていないとのこと。

地域PRJ推進室長

元々この瀬戸ヶ島埋立地は養殖、蓄養をイメージして埋め立てられたものと承知をしております。一番リスクが少ないのは蓄養ではないかと、今後可能性を探っていくことになろうかと思えます。原魚の調達方法についてはひとつの手法によらず、例えば市場を通して産地から上がってくる魚を加工する等の方法があるかと思えます。なるべくリスクを回避するというやり方で原魚調達をしていきたい。

牛尾昭委員

水揚高をあげるためには陸上養殖も必要だという話です。山本准教授によれば、中山間地、耕作放棄地でやるのが一番で、付加価値のある魚を選ぶとしたら必然的に魚種が限られてきます。農林課も一緒になって経済部全体で検討してもらいたいです。無菌状態で中山間地でエビの養殖に産業経済部全体で突き進むんだという姿勢が必要です。

瀬戸ヶ島の立地条件のペーパーを見た瞬間に思ったのですが、自分も一般質問で浜田の立地的にどうあるべきかという話を申し上げてきました。この資料の中に広島空港が欠けているのが素朴な疑問です。

地域PRJ推進室長

大消費地の九州あるいは大阪についてやや遠いところ思われているところが近いという意味合いで記載しています。海外に向けては、今言われた広島空港の可能性についても調査をしないといけないと思います。コンサルと相談させていただき、きちんと整理したいと思えます。

牛尾昭委員

ウラジオストクが載っていて上海が載っていないのはおかしいと思えます。バランスの良いコンサルではないのではと穿って見てしまいます。大消費地といいましたが、広島からバウンドで行けば、香港、上海も大消費地になると思えます。可能性を広げて考えないと瀬戸ヶ島については難しいと思えます。

季節インフラの優位性は当たり前のことで、こんなこと調査しなくても分かります。例えば年末は江崎から蓄養のブリが一番相場の良い時期を狙ってきます。四国、九州からブリもヒラマサも大挙してきます。考え方とすれば、消費地に行くということは当然のことであるが2次的に考えれば時化の多い浜田市では、時化の期間にスーパーに魚が並ばないというのは年間ずいぶんあります。地元消費の視点がこの報告書には記載がありません。もったいないと思えます。地元消費もそこそこあるわけですから、そ

ういう視点も併せてやらないと、この計画の実現性も危うくなると思います。是非計画の中に入れていただいて最終的なまとめをしていただきたいと思います。と思いますが、いかがですか。

地域PRJ推進室長

ここにあるのは現在浜田港が航路を持っている所ですが、実際どこに持っていかは、買ってもらえる所です。上海もターゲットになってくると思います。コンサルもノウハウを持っているので、今言われたことは調査の中で整理したいと思います。

地元消費についてですが、この事業については海外展開を拡大して採算が合いそうな所をまとめてきました。国内の価値も高める必要があると分かってきたので、そのことと、地元の方に喜んでいただけるような商品の扱いも検討していきます。

飛野委員

好適環境水による養殖の話ですが、海端は問題がありそうだとこのことで残念に思います。三隅火電の利用も検討するのだろうと思っていたので悪い条件が出て来た印象です。養殖コストの45パーセントが熱源です。火力発電所や温泉の熱源等を大いに活用出来るのであれば活用して、どうぞ前向きにご検討いただきたいと思います。

水産振興課長

好適環境水、山本准教授が研究されている分野です。コスト削減は大事な視点です。山本先生がエビ養殖が平米あたりどれくらい育成できるのかという研究をするということを知っています。生産量や生産額など分かってくると思います。今そのような状況だとお聞きしています。

笹田委員長

その他。牛尾博美委員。

牛尾博美委員

予算化してやったけど、仕様検討課題は当然だろうと思いましたが。市がいくら尻を叩いてコンサルを利用しても、地元への視点や地元水産業者との連携がないと、絵に描いた餅になります。これをやるにしても、市が積極的に話し合いの場を設けなくては一体誰が動くのかということになりますので、もっと多面的に見た経過を教えてください。

地域PRJ推進室長

JFさんはキーマンになっていただかないといけませんので、コンサルと一緒に話をしに行っています。コンサルも意識しておられるのが、工場を建設したときに、工場関係者だけにしかメリットがないようではいけない。生産者の方から魚を安定した価格で買っていくということが生産者にとって魅力のあることであれば協力をしていただける。それから漁業権が設定してありますので、ここに生簀を設置するとなると生産者の合意がないといけません。今後は地域関係者の意向調査も予定していますが、JFや漁業者さんのヒアリングは特に重点的にやりたいと思っています。

浜田は水産業のすそ野が広いので、水産加工業者の声も聞きたいと思います。

牛尾博美委員

理想を言うなら、ヒアリングするのではなく一緒になってやっていかねばいけない。浜田市のコーディネート力と、地元の協力。自分らでやる意識がなければ、コンサルの協力や理想があっても意味がない。本当にやる気があるのかというのを見せつけられている気がします。ヒアリングではなく一緒になってやっていきたいと思います。情報公開などやりながら取り組まないと成功は難しいと思います。口で言うほど楽ではないとは思いますが、市が率先してやっていかないと。他所から見ると浜田市はやる気があるのか疑問に思われているような気がします。

地域PRJ推進室長

今回1年かけてやっていこうとしているのがF S調査です。投資家の方

がこの計画を見たときに賛同してくださるかどうかの絵が描けるかというものです。そういう完成形が見えるかどうかに向けて取組を進めます。

牛尾博美委員 相手に聞くのではなく一緒にやっていく姿勢がないと、胸襟は開けていけないと思います。意気込みと姿勢を常に示す部分が必要だと思います。

牛尾昭委員 JFしまね浜田支所の意見なのですが、浜田市漁港の一番いいところを埋め立てたわけですが、ここを旧浜田市漁港と話をして漁業補償もして、ここを最大漁業センターにしますと国、県が打ち出して新マリノベーション構想として作った施設なのです。合併したとはいえJFしまね浜田支所がこういう見解を出すのはおかしいと思います。国県市と当時の浜田市漁港が同意してあそこを埋め立てたのですから、変に妥協しないで、その辺の事情も話し合わないと、何故あそこを埋めたのか忘れている人がいるのではと思いました。

地域PRJ推進室長 過去の経緯なども勉強させていただきまして、水産振興課、漁港活性化室と連携しながら、県とも歩調をあわせながら進んで行きたいと思います。

笹田委員長 先ほど、牛尾昭委員と牛尾博美委員が言われましたが、私は漁業者なのでこの辺は分かっていますが、やはり冬の間にもぐってナマコを取られたり、春先にはワカメを刈る漁師さんがいます。漁業補償で埋め立てられたのは事実です。漁業権が設定はされていますので漁業者がどういった漁をするとか、例えば生簀があってもナマコやワカメが獲れるようにするとか、細かいところもやっていくことが必要だと思いますので、頭に入れて事業に取り組んでいただきたい。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(15) 公の施設に係る指定管理者の管理の期間について

笹田委員長 この件について、行財政改革推進課長。

行財政改革推進課長 (以下、資料をもとに説明)

笹田委員長 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員 例えば優良な指定管理者がいたとして、次の切り替えの時期に、例えば10年、15年の年限が議案としてあがってくる可能性はありますか。

行財政改革推進課長 まず、市の中での運用のルールは、まず、最初は3年、次から5年となっています。期間を短くすると受ける側も難しくなります。10年という所もありますが一般的には5年です。むしろ譲渡したり一括で募集、期間がずれているものを揃えた方が効率が良いだろうと考えて準備しています。条例から期間をはずすということですのですぐに10年、15年を想定しているものではありません。

牛尾昭委員 荒っぽく言うと、譲渡しやすい状況を作るというのが大きいんですか。全国事例では10年というのがある。なぜなら安定して企業が受けられて、従業員も安心して雇えると。課長の話を聞くと譲渡しやすくなるということで、この問題どうも釈然としない、疑問が払拭出来ないで、もう少し明確な回答を求めます。

行財政改革推進課長 5年を超えるよう積極的な協議はしていません。公共施設の再配置を進めていくという中で、廃止であるとか譲渡であるとか積極的に対応出来るようにというのが主です。期間が長くなるということにおいてメリットもたくさんあるかと思うので、充分含めて検討したいと思います。

| | |
|-----------|--|
| 牛尾博美委員 | 期間を廃止することのデメリットの検討やシミュレーションをしたことありますか。 |
| 行財政改革推進課長 | 例えば再配置実施計画の中で、具体的計画については少し検討しました。全体的には、個別状況もあるので進める際はメリット・デメリットを含めて検討しなければと思います。 |
| 牛尾博美委員 | 収益事業についてはきちんと説明しておかないと、自分らの立場が危うくなるのではと不安を抱えるようでは困ります。その辺の説明を含めて再配置計画を進めなければ。事前準備が必要ではないかと思います。 |
| 行財政改革推進課長 | 一方的に指定期間を変更するようなことがあってはならないと思います。そのようなことがないように設定します。 |
| 笹田委員長 | 指定期間の廃止をしてやることは、施設の廃止や譲渡だと思っています。計画で5年間見てくださいという中で、3年経過した頃に施設を譲渡してやってもらえませんかと思うのが良いと思っています。受けたものが固定資産税とかかかってくるので、例えば3年間減免するとか考えながら今後契約しないといけなと思います。こちらの都合だけでいっていることであって、前向きに譲渡、廃止に向けていくのであればわかるのですが、それが見えない中での期間廃止では意味をなさないと思いますが。 |
| 行財政改革推進課長 | おっしゃるとおりです。従ってその施設をどのようにしていくか、譲渡後にスムーズに使ってもらえるか。そういうことも考えていかねばならないと思います。解体の時にどうするか等を心配されると思うので、そういったことを含めて、相談しながらスムーズに進めていく。大目標は減らすことであり、皆さんが施設を有効活用していくことができるということが大切であると思っています。 |
| 笹田委員長 | そのことは契約のときをお願いしたいと思います。指定管理者が決まった時点で譲渡、廃止に向けての話をしていただきたいと思います。 (「なし」という声あり) では、この件については終了します。休憩を取ります。再開は11時半です。 |

[11時 20分 休憩]

[11時 30分 再開]

(1) 浜田港拠点化形成研究会について

| | |
|--------|---|
| 笹田委員長 | この件について、産業政策課長。 |
| 産業政策課長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 笹田委員長 | 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。牛尾昭委員。 |
| 牛尾昭委員 | この研究会運営予算の裏付けはどうなっていますか。 |
| 産業政策課長 | 予算はありません。 |
| 牛尾昭委員 | そうすると関係団体や色んな研究会へはボランティアでお出かけになるんですか。 |
| 産業政策課長 | ボランティアというか、業務で出ていただき、課題の検討、情報提供していただいています。 |
| 牛尾昭委員 | このテーマは結構大きいので、県と市でいくらか持ち寄りながら研究会をやらないといけなのではないでしょうか。業界にいるから出ろではよくないのでは。 |

| | |
|--------|--|
| 飛野委員 | <p>広島も巻き込んだ連携ということで。素晴らしい大きな組織です。集荷やクルーズなどありますが、少し違う分野になろうかと思いますが、浜田沖海底資源も頭に置き、こういうメンバーであれば何かテーマがでるのではと思いました。逆に言うと今後の浜田を考えた時に一番大きな問題かと思っています。</p> |
| 産業政策課長 | <p>ご指摘のとおりです。海洋で資源開発されています。現実問題として昨年度末から、様々な資材が浜田港に陸揚げされていますし、海外からもコンテナを利用して掘削に必要な資材が搬入されています。一定の成果をいただいています。</p> |
| 原田委員 | <p>この中の目的は具体的にどういうことなんですか。</p> |
| 産業政策課長 | <p>目的は、まず構成団体の皆さんによって浜田港について理解を深めていただく。地域資源として活用していただける皆さんの理解を深める。また浜田港に関する課題について地域の皆さままで考えていく。次に課題検討の中で、皆さまに浜田港を地域振興の1つのアイテムとして活用していただく道を考えていただく。最終的には地域課題の解決、それぞれの地域の皆さんに課題があると思いますが、それを浜田港を通じて、例えばクルーズ船なら広域連携した観光振興とか、浜田港を利用した物流コストの低減等、ご理解いただいて浜田港の振興と地域課題の解決を目的としています。</p> |
| 牛尾博美委員 | <p>予算がついていけば良いという問題ではないですが、形だけ作れば良いという問題でもないと思います。石見地区は大きな工場もない中で、この研究会に54団体も集まっているのは、今後浜田港を活用するにあたり問題点や係留時間、細かな問題を話し合っ、国県市が一体となって浜田港を使ってもらおうようにするために、とても良い会だと思えます。しかし経費も出ないような会は見向きもされません。浜田の積極的な意思を示すためにも費用弁償等を予算化するなど、積極的にやっていく必要があるように思いますが。</p> |
| 産業政策課長 | <p>ご指摘のとおり、浜田の積極的な意思を示していくという意味で、浜田市あるいは県と一緒に、ある程度の活動が円滑に出来るような予算を組むことは大切だと思います。委員の皆さんからそのような発言があったことは県に報告したいと思えます。</p> |
| 産業経済部長 | <p>経過から説明しますと、県から特に浜田港振興会と浜田市が中心になりまして54団体にすべて、広島県の了解を得て県北の市町にお願いに上がったところです。当日は市町から担当の課長さんがこられまして、浜田港について利活用できるものであればしたいということでした。長期構想が出ましたが5年後、10年後、20年後、30年後の福井埠頭を埋め立てを予定して拡張するというようなところまで、島根県は長期構想の中に盛り込んで港の利活用について国の承認を得ようとして努力しております。それに伴う形で受け皿となる、荷物の集荷とクルーズ客船が入ってもらわなければならないという危機感から相互で立ち上げたものです。これに活用するための費用はこれからどんどん出てくると思いますので、フィードバックして浜田市や県に対して必要なものは手当てをして、この会が成功裏に導かれるように、また、浜田港への荷物が増えてクルーズ客船が多く寄港できるようにしていきたいと思えます。</p> |
| 牛尾博美委員 | <p>だからこそ大事な会だと思います。折角広島県も出雲からこちらも向</p> |

いてくれている最中ですから。これをベースにしながら、流通機能が担えるように、いづらか分かりませんが皆さんに注目してもらえるような、こういう場で意見を言ってもらえるような場にして欲しいと思います。そのためには予算化も当然考えないといけないと思います。期待しています。

笹田委員長

その他。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(2) 食による賑わい創出事業に係る地域おこし協力隊の活動拠点変更について

笹田委員長

この件について、産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

報告が終わりました。委員から質疑はありますか。布施委員。

布施委員

目的達成したから、ゆうひパーク浜田の活動は終わりなのか、本人の申し出によって別の所に行くのか。本来の目的が達成せずに次へ移るようにも見えますが。

産業政策課長

渡辺さんについては、これまでゆうひパーク浜田にあるイタリアンレストランを拠点に活動していただきました。レストランで使う食材の地産地消の推進、あるいは女性や若者に喜んでもらえるような雰囲気づくりに取り組んで来られました。レストランに片岡守さんという世界的有名シェフの料理教室の企画、ゆうひパーク浜田への集客を目的としたSNSでのPRなどをおこなってきました。一定の成果を集めたと当課では思っています。様々な所で別の経験を積んで厚みを増していただきたいと考えており、協議した結果、次の地を選定しました。

布施委員

渡辺さん個人に対しては良いのです。ゆうひパーク浜田が、継続的に集客できる所にしていかないといけない、これが一番の目標でしょうか。行政と施設と渡辺さんとで次に向けての話し合いがきちんと出来ているのか。渡辺さんがいなくなることで魅力がなくなったと言われるようではいけません。三隅のバイパスが出来ればもっと閑散した施設になる気がします。渡辺さんが力を発揮していただくのが大事だと思います。ゆうひパークとの話し合いは出来ているのでしょうか。

産業政策課長

現在ゆうひパーク浜田とその辺の話し合いをちゃんとしています。これまで渡辺さんがやってこられた功績を評価しておられて、今まで渡辺さんが築いてきたことで今後も充分やっていけると考えておられます。ゆうひパーク三隅はバイパス延伸により減客が見込まれますので、女性の感性を活かし、通過形から着地形として目的地として来ていただけるような道の駅づくりを、地域の方々と協議しながら進めていけたらと思っています。

笹田委員長

その他。

牛尾昭委員

まだよく分からない。渡辺さんという人材を活かすためにゆうひパーク浜田から三隅へ移すようにも見えるし、ゆうひパーク三隅のテコ入れをするように見えるし。彼女を派遣したことの実績が見えてきません。核心部分が伝わってきません。彼女を一人前にするために移動させるのか。ゆうひパーク三隅は今後非常に大変です。彼女を加えて結果が出なかった場合、彼女を潰すことになるかもしれません。その辺の整理をお

産業政策課長 願いたい。
 核心部分ですが、浜田市としては渡辺さんに多くの経験をして欲しい一心です。

牛尾昭委員 答弁は分かりました。今の答弁からすると、渡辺さんという貴重な人材を、スキルアップを含めて育てるための事業ということですね。

産業政策課長 おっしゃるとおりです。
 三隅支所長 ゆうひパーク三隅については多くの議員からご心配をいただいています。私どもからすれば、この渡辺さんにゆうひパーク三隅でご活躍いただくことで、目的地にさせていただけるような施設にさせていただけるものと大いに期待しています。

牛尾昭委員 渡辺さんを存知あげていないのですが、なかなか結果が出ない所へ派遣して、過度な期待をして彼女を潰すような総括をしないようお願いします。

三隅支所長 おっしゃるとおりです。ここの取締役も非常にごんばられて赤字経営だったものを立て直してこられた有能な方です。この方との人間関係も良好に行くと思いますので、彼女なりに頑張らせていただきたいと思えます。

笹田委員長 その他ありますか。
 (「なし」という声あり)
 では、この件については終了します。継続してやろうと思いましたが、ここで昼休憩を取りたいと思います。再開は1時です。

[11時 58分 休憩]

[12時 54分 再開]

笹田委員長 会議を再開します。産業経済部参事から発言の申し出がありましたので許可します。

産業経済部参事 先ほど地域おこし協力隊の説明の中で、産業政策課長が人材育成ということと言い切ったわけですが、もう一点は都会からこちらに来ていただいて地域を元気にする、人とのつながりをもって定住につなげていくということもあります。今回のゆうひパーク浜田で第一拠点として活動したわけですが、一定の区切りがついたため次の活動拠点として三隅へ行くものです。人材育成だけがミッションではないことを申し上げておきます。

(3) 平成27年浜田市農業産出額について

笹田委員長 この件について、農林振興課長。
 農林振興課長 (以下、資料をもとに説明)
 笹田委員長 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。
 串崎委員 3月の漁港水揚げ資料は素晴らしかったですが、今回はシンプルですね。100パーセントではないという話でした。思ったのは、今年出された組み合わせ植物を振興作物として一生懸命やるとのことですが、4つについてどのようなお考えですか。

農林振興課長 組み合わせ植物、どこまで追えるか分かりませんが表を作り直したいと思えます。

| | |
|-----------------------|---|
| 串崎委員 笹田委員長 原田委員 | 状況確認したいのでお願いします。 その他。原田委員。 有機野菜のグループが何割くらい占めているのか、それから水稲も27年度に比べて上がっていますが、出荷されている方は全体の何パーセントくらいか、お知らせいただきたいと思います。豚も同じく。 |
| 農林振興課長 | 有機の会の数値をここに載せています。水稲はJAからいただいた数値です。豚についてもJA出荷で、JAさんからお聞きした数字を挙げています。 |
| 原田委員 | 有機野菜は有機野菜の会だけですか。他のグループ等もあるのではないかと思うんですが、含まれていないのですか。 |
| 農林振興課長 | 報告いただいたのが有機の会だけですので、うちで把握出来ておりません。 |
| 飛野委員 | 組み合わせ作物については串崎委員の意見に賛成です。浜田の顔の梨、柿、ブドウについて説明を受けてがんばっておられるなどと思いました。柿についてですがあんぽ柿はこの数字に入っていますか。 |
| 農林振興課長 飛野委員 | 生果の所に入っています。 加工の部分かなと思いましたが、豊作のために単価が下がったのかなと思いましたが、あんぽ柿が需要が多いこともありますのでそれで賄える部分があるのではと思いますが。 |
| 農林振興課長 | 原田委員にお答えした部分とダブリますが、柿の半分は個販で出ます。ここにあげたのはJA集計数値です。浜田全体で個販も含めてどのくらいかは把握していません。 |
| 飛野委員 | 非常に天候に左右されますが、あんぽ柿ですがJAさんが中心となって、この3月には施設が完成するようですが、大々的に力を入れれば生産者もよいと思いますが。 |
| 農林振興課長 | あんぽ柿の生産については浜田だけでは生産は追いつけませんし、JAさんも西部の拠点施設として整備するものです。周辺市町からも併せて10万トンですけど、平成30年には3倍の30万トンくらいの見込みで生産に取り組もうと、JAさんも一生懸命やっておられます。 |
| 笹田委員長 | 他に。 (「なし」という声あり) では、この件については終了します。 |

(4) 島根県きのこの里づくり事業について

| | |
|--|--|
| 笹田委員長 農林振興課長 笹田委員長 串崎委員 農林振興課長 | この件について、農林振興課長。 (以下、資料をもとに説明) 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。 生産量の減少傾向にありますとありますが、詳細は分かりますか。 生産者の方は100パーセント組合に加入されていると思いますが、平成27年度末で60名です。直近の販売量ですが26年度については販売量が2845キロ、665万円程度でした。単価は2338円でした。27年度は生産量については約75パーセントの2027キロ、販売額は単価が倍くらいに上がり1000万を超えました。154%上がりました。10,228,744円です。数字だけ見ると倍になっていますが、伸び悩みという言葉を使わせていただきました。 |
| 原田委員 | この(4)、補助金額300万円ごとに1名の新規雇用が見込まれることあり |

農林振興課長

ます。各組合員でやられますが、例えば300万円の補助を受けると1人雇用しなければならない。生産者側から見れば雇用経費を出来るだけ抑えながら収益を上げたいと思うが。

6人が手を挙げておられますが、6人の方が一人ずつ新規雇用というのは難しいので、事業主体を組合としてやらせていただいています。6人が組合傘下で、4人の新規雇用がカウントされる。中には新規雇用がない所もあります。組合とすれば2人以上の新規雇用をしなければいけないのですが4人というのでクリアされるということです。1人ずつの事業者では事業採択にはならないのですが、6人の事業者さんを取りまとめた組合として事業申請してもらって4人の新規雇用した形で扱っています。

原田委員

連携してやれば良いというわけですか。

農林振興課長

県の実施要領によりますと300万円までの補助を受ければ1名以上の新規雇用をとる要綱になっているので、浜田でどうこれをクリアするかを考えた場合、組合の方で受けていただき6つの事業者で生産量を増やしてもらって新規雇用を全体で4人増やしてもらうということです。市の単独事業ではなく、県の事業です。県の要綱にあうようにしたものです。6名がもう手を挙げている、ということは今年度はもう定員なんですか。

飛野委員

定員ということはありません。事前調査をして6つの事業者さんが挙手され、県に申請します。

農林振興課長

飛野委員

枠があるということですか。

農林振興課長

来年からでも対応が出来ます。

笹田委員長

その他。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(5) 危険木・支障木緊急除去事業の運用について

笹田委員長

この件について、農林振興課長。

農林振興課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

報告が終わりました。委員から質疑はありますか。

飛野委員

現在までの申請受理状況が分かればお願いします。

農林振興課長

6月24日で集計した所、危険木は37箇所、約400万円。うち16ヶ所、190万円くらい実施しました。支障木は14エリア780万円。実施は4ヶ所で150万円の事業費を使っています。全ての要望箇所については51か所、概算だと1200万円になります。これまでに、実施をした箇所は20箇所約350万円の事業費を使っています。年間予算が4250万円ありますのでまだ、3000万円くらいの余裕があります。これから梅雨や夏が過ぎた後には台風があり、大雨で危険木や支障木が出てくるかと思いますが、充分対応出来ると思います。

飛野委員

この施策は中山間地にとって非常にありがたいと思います。地権者の許可を取らねばならないという部分をもう少し緩和出来ませんか。

農林振興課長

この事業を実施するにあたり、地権者の同意がなくても切ってしまうという話はあったんですが、何故切ったと言われる地権者の方がおられるのも事実です。手続きは踏んで通常了解はいただけるものと思っております。人の財産を市が勝手に切ったと後で言われぬように。お互いに了解をしてするというようにしております。

飛野委員
農林振興課長
布施委員

もし倒れて何かの事故に繋がった場合、地権者に責任はないのですか。
基本的には地権者の責任として処理してもらうことになります。
佐野や生湯に対象が広がってこの事業が使えるとのことですが、周知方法はどのような状態でやられるのでしょうか。

農林振興課長

各自治区については地域協議会で説明されていると思います。広報にも出しております。道路パトロールが常に回っておりますので、そこで発見して地権者へ手続きをするということを考えています。ただ、広報に一度出ただけなので地域の方に周知する方法を検討しなければならないと思っています。実際に数字をみまして6月にこの件数なのでもっと地域の方に話をする場面を作っていかなければと思います。

布施委員

事故が起こってはいけないと思います。周知方法はあまりお金が要りませんので徹底してほしい。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(6) 漁業別水揚げについて

笹田委員長
水産振興課長
笹田委員長

この件について、水産振興課長。
(以下、資料をもとに説明)
報告が終わりました。委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
では、この件については終了します。

(7) 高度衛生管理型荷捌所の整備スケジュールについて

笹田委員長
漁港活性化室長
観光交流課長

この件について、漁港活性化室長。
(以下、資料をもとに説明)
この整備に関して、浜っ子夏まつりの中心となる7号岸壁に上屋が建つと花火が見えにくくなります。打ち上げ花火は見えるのですが水中花火は見えにくくなります。毎年恒例で浜田漁港で開催されていたものですし、他に適切な場所が見つかりません。出来れば場所を変えずに、今通行止めになっていますが、マリン大橋を解放してそこで見ていただくこともあるかと思っています。また関係者と協議させていただき、出来るだけ開催場所は変えない方向にしたいと思っています。

産業経済部長

スケジュールをご覧ください。下段、岸壁の耐震化のところがございますが、方針を伺いましたら既存の岸壁を補強すると伺っています。29年度の夏にはその耐震化工事が入ってきます。来年の花火大会から、一部規制がかかってくるのではないかと考えられます。一般市民にお知らせしてまいりたいと思います。

笹田委員長
串崎委員

報告が終わりました。委員から質疑はありますか。串崎委員。
今年の議会報告会で説明した点でもあります。今50億円という話もありました。出来ればスケジュール表に、今年いくらかかるという金額が出るならより分かりやすいかと思っています。

漁港活性化室長

28年度の予算については5400万円、基本設計と詳細設計をする予定にしています。なかなか具体的にどの部分がいくらという話は今はできかねます。基本設計を進めるなかでおいおいご説明したいと思っています。

牛尾昭委員

50億を超えるという話は初めて聞きました。なぜそうなるのかを外部

に説明された方が良くと思います。数字が独り歩きするので、例えば実質の負担割合は2億から2億5千万円ですよという説明は絶えず必要ではないでしょうか。

花火の話が出ましたが、もともと花火をするために岸壁を作ったわけではないので、本来は本末転倒なのですから。最近、観光協会でもすごく心配しているといわれるのですが、そこで露骨にそういうと反発があるので控えているのですが、本来水産浜田の水揚げのための岸壁なので花火が優先することはありません。知恵を出してもらって今までより良いロケーションが確保出来ることをアピール出来るように。

笹田委員長

スケジュールの中で、巻き網船の競りは分かります。これを見ると4号底引きを壊して荷捌き4号を作るということでつぶしてしまうと。4号の競り場所はどこに担保されますか。

漁港活性化室長

4号岸壁の取り壊した後については、今、巻き網が使っています5号荷捌き所を活用して頂くよう考えています。

笹田委員長

分散していた荷捌き所を集約し、とあります。6号は今是一本釣り等の競りを行っていますが、この計画では集約してしまおうとしているように読み取れます。5号、6号の今後の使い道についてはどのようになっていますか。

漁港活性化室長

5号、6号ともJFしまねの所有になっています。整備エリアから外れますのでその活用についてはJFしまねの判断によります。5号荷捌き所は現在、地元の巻き網生産者の選別機が置いてありますので、その活用も含めてどのようにするのかは今後検討することになっています。6号については具体的な集約後の使いかたは決まっていますが、現在でも物置的な使い方なのでそれに近い形になると思います。

笹田委員長

こういった所もしっかり話し合い、漁港が活性するように整備していかないとはいけません。整備したからといって漁獲高が上がるわけでもないです。

漁港活性化室長

ご指摘のとおりです。荷捌き所を作るだけでなくバックヤードを含めて、水揚げが増える整備を考えねばならないし、荷捌き所を中心に地域振興という観点からも原井の漁港が活性化していく方法を関係者の皆さんと考えていきたいと思っております。

笹田委員長

他に。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(8) 国民宿舎千畳苑の大規模改修後の収支見込について

笹田委員長

この件について、観光交流課長。

観光交流課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

報告が終わりました。委員から質疑はありますか。

布施委員

経営の過度の目標を立てても達成率が厳しいため、このような目標なのだと思います。8月には高校総体がありますがこういった状態ですか。

観光交流課長

高校総体の宿泊予定ですが、調整はJTBに委託しています。高校総体に出場される高校の出番といいますか抽選会が来月初旬にあります。その順番と有力校中心に市内宿泊施設を埋めていくこととなります。千畳苑でも7月末から閉会式まで宿泊は一杯になるだろうと予想しています。

| | |
|---------------|---|
| | <p>高校総体用として提供するものと常連の観光客との兼ね合いも必要とは思いますがほぼ満室と聞いております。</p> |
| <p>布施委員</p> | <p>毎年あればいいことなのですが減多にないことです。石見全体のことを思えばいい事なのですが浜田の宿泊施設が埋まってから周辺の市町村に波及していくようなことがあればいいと思う。千畳苑も大きな宿泊施設なので、担当課としてファンスペースさんにお任せするのではなく、PRの良い機会です。全国から集まり全国へ帰って行って、浜田のおもてなしをPRしてくれると思います。それが観光交流に繋がると思いますが、是非ともやってください。</p> |
| <p>観光交流課長</p> | <p>高校総体の開催期間中、県立体育館前とJR浜田駅の前に総合案内所を設けまして、観光交流課の職員も出向きまして観光PR、観光地へのご案内にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。選手だけではなくて保護者や応援団もいらっしゃいますので、そういった方も対象にして観光資源のご案内を積極的にさせていただきます。</p> |
| <p>串崎委員</p> | <p>7、8年ぶりのプラスとのこと。来年度は見込んで検証しているのだろうと思っております。1年を通じて、儲かる、儲からない時期があると思っておりますが、それば何月か把握はしていますか。</p> |
| <p>観光交流課長</p> | <p>年間の中で、売上げが多い時期は夏場です。収入が少ない時期は冬場の2月、3月です。</p> |
| <p>串崎委員</p> | <p>その辺をもう少し検討されたり、大きな駐車場もありますのでイベント等の開催も良いかもしれませんので、ご検討いただきたいと思っております。水道光熱費ですが、2800万円となっておりますが、今までは3000万円です。少なく見積もっていますがどうなっていますか。</p> |
| <p>観光交流課長</p> | <p>水道光熱費が何年度と比べてですか。</p> |
| <p>串崎委員</p> | <p>26年度が3300万円です。今回が2800万円となっております。100万200万ならですが、500万も一気に減っているのは何か理由がありますか。</p> |
| <p>観光交流課長</p> | <p>正確なことは把握はしていませんが、平成27年度に空調改修ということで1階の会議室と2階の宴会場の改修をしています。このことによる省エネ効果があったと思っております。</p> |
| <p>笹田委員長</p> | <p>その他何か。 (「なし」という声あり) では、この件については終了します。ここで休憩を取りたいと思っております。再開は2時10分です。</p> |

[14時 00分 休憩]

[14時 08分 再開]

(9) 浜田市農畜産物加工施設の状況について

| | |
|--------------|--|
| <p>笹田委員長</p> | <p>この件について、金城支所産業建設課長。 (以下、資料をもとに説明)</p> |
| <p>笹田委員長</p> | <p>報告が終わりました。委員から質疑はありますか。</p> |
| <p>牛尾昭委員</p> | <p>今の話を聞いていると、衛生管理上良くないので譲渡したいというように聞こえます。市が衛生管理上良くないものをもって出資者へ渡すということで良いのですか。聞いていて不自然な説明に思えたんですが。良くないから今使っている方に譲渡するという印象を受けたのですが。</p> |

| | |
|----------|---|
| 金城産業建設課長 | これは補助金の残存期間がありますので、有償譲渡だと補助金返還が発生しますので、無償を考えています。牛尾昭委員からのご指摘にあったように、現在は利用者の方も非常に敏感になっていまして、それぞれが衛生管理をきちんとなさっています。しかしもっと気をつけないといけないので、その辺も考えておられるようです。市としてもこのタイミングで今お使いの利用者に譲渡したいと考えているところです。 |
| 金城支所長 | 確かに築20年経っており、通常20年経過いたしますと塗装が剥がれたり、下のコンクリートが剥がれたりという簡単な補修箇所が出ています。今後、市が持ち続けて大きな修繕費が出るとか、事故等が発生して市が施設所有者として責任を取るようなことがあってはなりません。平成20年度に行革の関係で三セクを解散しました。当時JA、旧金城町を含めて13団体でやっておりましたが、譲渡を前提として指定管理をするということで進めておりました。指定管理を3年、3年で更新を進めてきておりましたが、市も公共施設再配置計画を出したタイミングもあり、今後発生するであろう老朽化対策も出てくるということもありまして、現在、修繕は利用料金の中でやってもらっていますが、ここで譲渡の手続きを開始させていただきたいという思いでいます。今、ボロボロになっていてどうにもならないから譲渡しますということではなく、今後のリスクを思って、出来れば可能性のある所から進めていきたいということで報告させていただいたところです。 |
| 牛尾昭委員 | そうだろうと思いますが、相手が素直に受け取ってくださるでしょうか。一定の手を入れて渡すのならまだしも、早く手放さない和不味いようなものを相手が受け入れるかという問題があると思いますが、日々使われている相手ですから、行政がやはり施設を雇用の確保もある使用者に渡すならある程度手を入れて貰ってやってくださいと言うのが行政の常識的な態度ではないでしょうか。 |
| 金城産業建設課長 | この施設は雇用の確保であったり、地場産業の振興の目的で設置をした施設です。関係団体の育成というのが大きな目的です。今後協議をしてお互いに紳士的に手続きを進めて行きたいと思っております。 (「なし」という声あり) では、この件については終了します。 |

(10) 美又温泉公的施設検討会議の報告について

| | |
|---------------|--|
| 笹田委員長 | この件について、金城支所産業建設課長。 (以下、資料をもとに説明) |
| 笹田委員長 布施委員 | 報告が終わりました。委員から質疑はありますか。 施設のあり方の検討はよく分かりますが、根本は施設のあり方ではなく入込客をいかに誘致するかだと思います。民間譲渡する前に地元組合で色々やっておられますが、入込客が増加しないと解決しないと思います。山陽側のお客をいかにこちらに向けるかも併せてしっかりやれば前進すると思います。湯質は良いので。全体を考えながら増やしていけば良い方向性になると思います。入込客を増やすにはどうしたらいいかも検討していただきたいと思います。 |
| 金城産業建設課長 | おっしゃるとおりです。ピークに比べたら相当減っています。市としては環境整備の補助金を打ったり。地元の方がおもてなしの向上だとか |

を一緒に話し合いながらやっています。他施設との連携も考えつつ、利用客を今から増やしていくのが本当の課題だと思います。しかし相当な老朽化も事実です。

金城支所長

入込客を増やして地域に反映させるかが大きな目的です。元気な浜田のおもてなしの向上、イベントや連携などの予算を認めていただいて取り組んでいる最中です。今後集客対策について旅館街や他の温泉施設と連携をして進めて行きたいと思います。

牛尾昭委員

先日足湯の式に参加しました。オープニングからちょうど1年です。休暇村サービスの撤退原因は老朽化でした。新しい施設を作るにはどういう規模が良いのか。ここへ税金を突っ込む価値があるのかという議論はあるかと思っています。この答申はそれなりにまとまった答申だと思います。きんたがあるから落ちたということを含めてエリア内競争で落ちているわけです。税金を突っ込むならどの規模が良いのか、本当に宿泊施設が要するのか、例えば日帰り施設で快適に過ごせるということで、先進地事例があれば検討していただいて、今の美又が10年、20年通用する新たな美又スタイルを絞り込んでいただいて、そこに税金を突っ込んでいくということでない、新たに観光客を掘り起こして今からどんどん呼んでくるんだという夢みたいな話はハードルが高いと思います。是非その辺も考えていただき、この中核施設は必要だけどやるべきじゃない、民間呼んできてやろうという話だと思います。更に検討していただきたいと思っています。熟慮して良い物を作っていただきたいと思っています。

金城支所長

この委員会の後に内部協議をする予定になっています。具体的に進めさせていただきたいと思っています。先ほどのご意見拝聴させていただきました。よろしく願いいたします。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(11) 市道の廃止・認定状況について

笹田委員長

この件について。

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

報告が終わりました。委員から質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(12) 「浜田市空家等対策の推進に関する条例概要(案)」及び「浜田市空家等対策計画(案)」のパブリックコメントの実施について

笹田委員長

この件について、建築住宅課長。

建築住宅課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

報告が終わりました。委員から質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

では、この件については終了します。

(16) その他

笹田委員長

その他、執行部から2件聞いています。

浜田PR大使「千葉すず氏」委嘱について

観光交流課長
笹田委員長
飛野委員
観光交流課長
飛野委員
観光交流課長
笹田委員長

(以下、資料をもとに説明)
説明がおわりました。委員から質問はありますか。
委嘱期間はありますか。
一応2年ですが、継続もあります。
名刺はもちろん和紙ですか。
名刺については5種類ありますが、うち1種類のみが和紙です。
その他ありますか。
(「なし」という声あり)

ふるさと寄附について

笹田委員長
ふるさと寄附推進室長
笹田委員長
布施委員

では次。ふるさと寄附推進室長。
(以下、資料をもとに説明)
説明がおわりました。委員から質問はありますか。
ふるさとコレクション2016の費用的なものをお伺いします。今年度から企業の寄附も可となりましたがそれに対してのアクションは浜田市としてどのようにされていくのか。

ふるさと寄附推進室長

費用は旅費、PRも含めて約150万から200万くらいかかりそうですが、現在最終の詰めをしているところです。企業の寄附についてはこちらの方で調査をしておりますが、庁内で検討会を開いて準備を整えて順次やっていこうということになっています。これに関しましては企業の思い、浜田市へ進出している企業との考え方もありますので横の繋がりを持って検討していきたいと思えます。

布施委員

大都市圏のPR合戦ですが、地方においてうまいところ、下手なところがありまして、そのときの印象が大きくその地方の印象にかかわってくると思えます。3年連続ベストテンに入った浜田市としてもふるさと納税だけではなく、熱い気持ちは全国に負けないということをPRして欲しいと思えます。商品はいいのですがプレゼンによっては半減する場合がありますので是非自信を持ってやっていただくようお願いいたします。

ふるさと寄附推進室長

その他職員も2名体制で対応しています。ふるさと寄附連携会から15社から述べ26人程度の方が9日間にわたってそれぞれ分担しながら対応することになります。商品以上にしっかり浜田市をPRしながら島根県というより浜田市を宣伝をして帰りたいと思えます。

笹田委員長
牛尾博美委員

その他。何かありますでしょうか。牛尾博美委員。
気になることがあるのうかがいます。5月始めにつつじ祭りで三隅公園前で募金活動をしたのですが、何百人とこられました、あそこはトイレがありません。何故ですか。

三隅支所長

委員が言われるのは一番上のことだと思いますが、過去にはトイレがありました。利用者数の影響かは分かりませんが解体した経緯があります。つつじ祭りや梅狩りの期間である5、6月頃に集中しています。また、上は三隅公園なのですが下の三隅神社にはあります。参道を行くと左手にトイレがあります。支所とすれば予算要求はしますが予算査定段階で上手く行っていません。逆に言えばうちが必要性的について上手く伝えられていないのかもしれないかもしれません。車椅子の方も便利だとは思いますが費用対効果の面もありますので、今少し検討させていただ

| | |
|--------|--|
| 牛尾博美委員 | <p>きます。</p> <p>三隅公園も浜田の大事な観光名所です。そんな所にトイレがないのは問題があると感じました。バイオトイレや簡易トイレなど、来る人にやさしい施設づくりをしていかないと。確かにお金もかかるけどそういう視点を見失わないようにしていただきたいと思います。</p> |
| 三隅支所長 | <p>いろんなトイレがあるということをお伺いしましたので、担当課にもう少し研究するように促していきたいと思います。</p> |
| 牛尾博美委員 | <p>建設だけの問題ではなく、福祉と環境も含めてオール浜田で取り組んでいただきたいと思います。障害者や子ども、高齢者の視点でもっと使いやすいものにしていただきたいと思います。</p> |
| 牛尾昭委員 | <p>前市長の時に今亡くなった三隅の議員が栄町のトイレが臭くてみっともないということを言われ、前市長が改修した経緯があります。20数年前に大先輩で坂田議員という方がおられました。一般質問でJRのワンマンカーの中にトイレがないと、国体か何かの大会のときに高校生か中学生の女の子がトイレがないために非常に恥をかいた。人権問題だというのを取り上げたことがありました。費用対効果の前に、車椅子の方は入れるトイレは限られています。観光地で売り込んでいて人権問題に関わるようなことを言われたら不味いと思います。そういう所から先にされないと。つつじ祭りといってあれだけ大々的にやって、県外からも観光客が来られるのにあれでは不味いと思います。議長経験者二人がああおっしゃっているの、検討をお願いします。</p> |
| 笹田委員長 | <p>それでは、最初に言いましたとおり、全員協議会へ、「提出すべきもの」「資料配布のみとすべきもの」「提出の必要はないとするもの」の決定をしたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告 (2) 資料のみ (3) 資料のみ (4) 資料のみ (5) 資料のみ (6) 資料のみ (7) 報告 (8) 資料のみ (9) 資料のみ (10) 報告 (11) 報告 (12) 資料のみ (13) 報告 (14) 報告 (15) 千葉すずさんの件：報告 ふるさと寄附の件：報告 |
| 産業経済部長 | <p>その他執行部からあります。産業経済部長。</p> <p>千葉すずさんの件については1日、2日がメインになりますので終わった事後報告ということで調整させてください。</p> |
| 笹田委員長 | <p>それでは、執行部の皆さんはここで退席されて結構です。お疲れ様</p> |

笹田委員長

でした。

その他、委員からありますか。

(「なし」という声あり)

それでは、執行部の方におかれましては、ここで退室されても結構です。大変ご苦労さまでした。

《 執行部退室 》

当該委員会に付託されました市長提出の議案の採決を行ってまいります。

議案第58号 浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について

お諮りいたします。

議案第58号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第61号 市道路線の廃止について（大麻13号線）

お諮りいたします。

議案第58号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第62号 市道路線の認定について（国府251号線外）

お諮りいたします。

議案第58号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、産業建設委員会に付託を受けた議案の審査は全て終了いたしました。

[15 時 15 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに産業建設委員会記録を作成する。

産業建設委員長 笹 田 卓